



2025 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 ユキグニファクトリー株式会社
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 湯 澤 尚 史
(コード：1375、東証プライム市場)
問合せ先 経営企画本部 IR・広報部長
米 山 正 芳
(TEL. 025-778-0162)

(追加)「2026 年 3 月期第 2 四半期決算説明資料」の一部追加について

2025 年 11 月 6 日に公表しました「2026 年 3 月期第 2 四半期 決算説明資料」にてページの追加がありましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 追加の理由

当社は、国際会計基準（以下、IFRS）を適用しており、IFRS 第 41 号「農業」の会計基準に基づいて開示しております。そのため、IFRS 第 41 号「農業」の適用による公正価値変動が営業利益に与える影響について、株主・投資家の皆様により深くご理解いただくことを目的としております。

当第 2 四半期においては、公正価値変動の影響により、営業利益が前年対比で大きく減少しております。しかしながら、公正価値評価の変動を除いた事業の実態を示すコア EBITDA では、前年同期比 10.3%減に留まっており、事業の堅調に推移しております。この点を明確にするため、追加ページでは収益と売上原価における公正価値の内訳を T 字勘定を用いて詳細に分解・説明しております。

2. 追加の内容

収益と売上原価における公正価値について、T 字勘定を用いて分解いたしました。追加した該当ページは別紙の通りです。

(追加箇所) 18 ページ

※ ページ追加後の「2026 年 3 月期第 2 四半期 決算説明資料」は、当社ホームページに掲載しております。

<https://www.yukiguni-factory.co.jp/ir/library/presentations/>

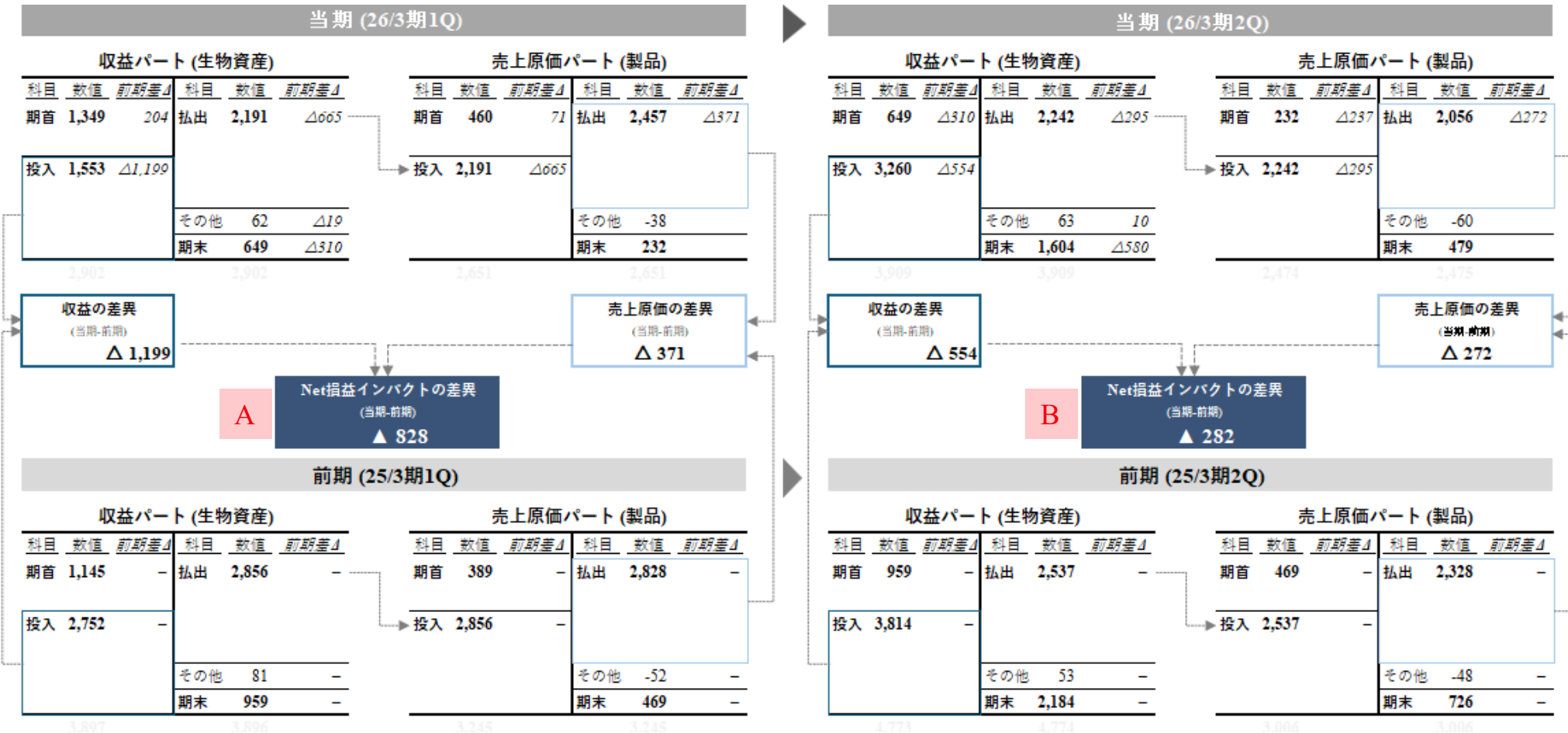
以上



農業会計適用による損益インパクト（公正価値の分解）

期首在庫積み上がり起因し、第2四半期累計の損益インパクトは△1,110百万円であるも、第2四半期単独では約2億円とその前期比差が縮小・改善しつつある

(単位：百万円)



当期2Q累計Net損益インパクト **A** + **B** = △1,110百万円